

県議会議員

あらい、絹世の磯っ子レポート

夢と希望のある神奈川を



<https://araikinuyo.jp/>

対コロナ、ヘルスケア、地域防災、県立高改革など 県議会代表質問で17項目にわたり質問・要望行う

県議会第3回定例会が開会し、9月12日の本会議でコロナ感染症禍や物価高騰等への対策、ヘルスケア・ニューフロンティア政策、県立高校の改革など17項目にわたり質問を行い、知事等からの答弁の後、質問項目への要望を行いました。このうち3項目での要約を掲載すると一。

県民ホールの在り方の検討

文化芸術振興の中核施設の県民ホールは今年で開館47年目を迎え老朽化し、設備の面でも大ホール専用のエレベーターやエスカレーターが設置されていない。施設の今後の在り方について検討を始める時期では。

【知事答弁】文化芸術に係る専門家に施設の機能などについてヒアリング。県費負担抑制、民間の資金、ノウハウの活用の意見を事業者から聴取するなど幅広く検討していく。

【再質問】県民の意見も聞く必要がある。**【知事】**利用者や県民アンケート調査なども行っていく。

市町村の防災力向上に向けた支援

市町村の地域防災力強化事業費補助金について市町村から充実を求める声大きい。現在の補助制度の継続を含め、市町村の防災対策の強化に取り組む必要があると思うが、どのように取り組むのか。

【知事答弁】昨年度までの6年間で県から64億円を補助。財政支援を継続するとともに災害時の情報伝達など市町村との連携を一層強化していきたい。

【再質問・要望】防犯カメラ・デジタル式防災行政無線などの維持・更新にも補助金の活用を望む市町村が多い。令和5年に向け市町村のニーズに合った制度設計を。

高齢者の詐欺被害抑止に向けた取組

本県の特殊詐欺被害発生は全国の中でも多い。若者を含めた被害防止策にどう取り組んでいくのか。

【県警察本部長答弁】県内の特殊詐欺の被害は令和4年7月末現在、982件、約19億2800万円。前年同期より271件、約6億9600万円増えている。警察では最重要課題と位置づけ、高齢者への注意喚起とともに学生や社会人など幅広い世代に対し積極的な広報活動に努める。

【要望】今後犯行グループによる様々な手口が予想され、ぜひ若い人を対象とした広報啓発に若い人を含めて主体的に参加できる機会を設けてほしい。



コレが言いたい!

県民や市町村のニーズが高い防犯カメラ設置については、令和5

年度から「市町村地域防災力強化事業費補助金」のメニューに位置づけられる事から令和4年度と同額が計上されるのか、防犯カメラ設置に関する補助金が減ってしまうのではないかと市町村が危惧しています。これまでと同等以上の支援を行う事、また防犯カメラの維持更新など望む声も多い事から、市町村のニーズにあった制度設計を行う事を合わせて要望致しました。

今月のひと言

10月は「県民スポーツ月間」です。磯子区でも10月15日(土)に磯子スポーツセンターでパラスポーツ体験会や筋肉量の測定などが体験できる「スポーツレクリエーションフェスティバル2022」が開催されます。

磯子あれ? これ?

若宮御霊神社 (磯子区洋光台一丁目)

若宮御霊神社は、新編武蔵風土記稿によると若宮八幡社と御霊権現社の別々の二社として松本村(現港南区笹下)あったと書かれています。

天文年間(1532~55年)にこの地を治めていた領主の間宮信元によって、居城であった笹下城と間宮氏の守護を祈願して祀られた若宮八幡宮と、村民持ちの御霊権現社が起源と言われています。

明治41(1908)年の神社統合令により、港南区の天照大神の下に合祀されました。そして、平成元年に篠木(笹下の古名)神社として現在の場所に再建遷宮され、平成16年に「若宮御霊神社」と改称されました。

遷宮されたときには盛大な大祭がおこなわれ、袴姿の大人や稚児行列で賑わい、神奈川新聞に「わが街の鎮守81年ぶりの復活」という見出しで記事になりました。

毎年の例大祭(9月22・23日の直近の土、日)では神事の他、夜間手作りの灯籠や牛乳パックを再利用したキャンドルが参道に飾られ幻想的な雰囲気を出しています。

参考:横浜市内の神社仏閣を紹介したぶらり散歩日記、いそごの神社と祭り

活動報告

9月12日(月)に行った代表質問17項目は下記となります。

- (1) 税収見通しと今後の財政運営について
- (2) 9月補正予算の考え方について
- (3) コロナ禍や物価高騰等の影響を受けている中小企業への支援について
- (4) 新型コロナウイルス感染症への今後の対応について
- (5) 神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例の制定及び県立障害者支援施設の方向性について
- (6) かながわグランドデザイン評価報告書2021を踏まえた今後の対応について
- (7) ヘルスケア・ニューフロンティア政策について
- (8) 神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について
- (9) 第8回線引き見直しに向けた取組について
- (10) 神奈川県立県民ホールのある方の検討について
- (11) 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の成立に伴う県の対応について
- (12) 防犯カメラ設置のための継続的な支援について
- (13) 市町村の地域防災力向上に向けた支援について
- (14) 高齢者の詐欺被害の抑止に向けた取組について
- (15) 本県の子ども施策の今後について
- (16) 県立高校改革の推進について
- (17) 教員免許更新制廃止後の新たな教員研修の整備について



あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会学科卒業
- 日商岩井(株)/ (株)メタルワン
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選

- 総務政策常任委員会委員
- 共生社会推進特別委員会委員
- 予算委員会委員
- 自民党県議団政務調査会会長
- かながわ自民党女性議員局長

